

お香と香炉

G0112

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

中国



中国の回族の人々の宗教活動では、とくに葬式を中心に、お香を焚く姿がよく見られる。それ以外にも、コーランをよむときにお香を焚きしめたりする。それは、お香を焚くことで、その空間を浄めることができると考えられているためである。また、その際にはしばしば香炉が用いられる。香炉には、金属製のものだけでなく、陶製のものもある。

【今中先生からのひとこと】

宗教活動で用いられるお香の種類はとくに決まっていません。北京を中心に「芭蘭香（バーランシャン）」というものが広まっており、ムスリムのお香として人気を博しています。

【横山先生からのひとこと】

中国では線香は一般に広く使われます。ムスリムの線香立てにはアラビア文字が刻まれています。中国では、ムスリムの人びとは、それ以外の人びとと比べて、芳香性が強めの線香を好んで使っているように思います。